

## 研究活動及びオープンアクセスに関する調査票

### あなた自身について伺います。

設問1 年齢をお答えください。(1つだけ 印)

- 1 ~29歳      2 30~39歳      3 40~49歳      4 50~59歳      5 60歳~

設問2 役職をお答えください。(1つだけ 印)

- 1 教授      2 助教授      3 講師      4 助手  
5 その他 [具体的に: \_\_\_\_\_ ]

設問3 あなたの主たる専門分野は次のどれにあてはまりますか。(1つだけ 印)

- 1 語学・文学      2 哲学      3 教育学・体育学      4 心理学  
5 社会学      6 歴史学・考古学      7 地域研究  
8 法学      9 政治学      10 経済学      11 商学  
12 経営学・会計学・統計学      13 数学      14 物理学・天文学  
15 化学      16 生物科学      17 地質学・地理学・地球物理学  
18 科学教育      19 核科学      20 情報学      21 工学一般・応用物理学  
22 機械工学      23 電気・電子工学      24 土木工学・建築学  
25 金属工学      26 応用化学      27 資源開発工学      28 農学  
29 医学      30 歯学      31 薬学  
32 その他 [具体的に: \_\_\_\_\_ ]

### 研究情報の収集と研究成果の発表について伺います。

設問4 研究のために必要な論文や記事を、インターネットを介して入手する場合(たとえば、出版社の電子ジャーナルサイトや Google 等の検索エンジンなどから)、次のどれがあてはまりますか。(1つだけ 印)

- 1 すべて入手できる \_\_\_\_\_ 【 設問4 - 1へ】  
2 ほとんど入手できる(一部入手できない) \_\_\_\_\_  
3 入手できないことが多い(一部入手できる) \_\_\_\_\_ 【 設問5へ】  
4 ほとんど入手できない \_\_\_\_\_  
5 インターネットを介して入手することはない 【 設問7へ】

設問4-1 (設問4で「1. すべて入手できる」「2. ほとんど入手できる(一部入手できない)」と答えた方に)容易に入手できていますか。(1つだけ 印)

- 1 比較的容易に入手できている      2 入手できているが容易ではない  
3 どちらともいえない

設問 5 インターネットで研究論文や参考文献を検索するとき、どのような WWW 検索エンジン（無料）を使用しますか。（あてはまるものすべてに 印）

- 1 Google      2 Google Scholar      3 PubMed      4 SCIRUS  
 5 その他の検索エンジン [ 具体的に : ]  
 6 このような情報には検索エンジンは使わない

設問 6 研究のための情報収集に、オンライン書誌データベースや電子ジャーナルはどのくらいの頻度で使いますか。（1つだけ 印）

- 1 ほぼ毎日      2 週に1回以上      3 月に1回以上  
 4 年に数回程度      5 使わない

設問 7 研究成果を投稿・発表する際の動機には、次のような項目があげられますが、あなたにとってこれらの動機はどの程度あてはまりますか。A～Eの項目についてそれぞれお答えください。

	かなり あてはまる	まあ あてはまる	どちらとも いえない	あまりあて はまらない	ほとんど あてはまら ない
A 研究成果を広く知らせ るため	1	2	3	4	5
B 研究業績を伸ばすため	1	2	3	4	5
C 研究分野における地位 向上のため	1	2	3	4	5
D 助成金を獲得する可能 性を増やすため	1	2	3	4	5
E 直接的な報酬のため	1	2	3	4	5

設問 8 あなたは、毎年おおよそ何本の論文を投稿・発表しますか。

本

設問 9 最近3年の論文の本数を投稿・発表先とその際の記述言語別にお答えください。

- A 国内の雑誌に和文で [      本 ]  
 B 国内の雑誌に欧文で [      本 ]  
 C 海外の雑誌に欧文で [      本 ]  
 D 海外の雑誌に和文で [      本 ]

設問 9-1 では、最近3年に何冊の著書を上梓しましたか。

冊

設問 10 自分の論文を電子的に保存する場合、どのような形式でデータを保存しますか。（あてはまるものすべてに 印）

- 1 PDF      2 HTML      3 テキスト      4 Tex、LaTex  
 5 MS Word      6 一太郎      7 専用ワープロ  
 8 その他 [ 具体的に : ]

## オープンアクセスについて伺います。

設問 11 あなたはオープンアクセスの概念を以前からご存知でしたか。(1つだけ 印)

- 1 はい
- 2 いいえ

**オープンアクセス**とは、研究成果をオンラインで誰もが無料で利用できるようにしようという考え方であり、欧米を中心に、研究者が、自身の研究成果をできるだけ広く公開し、また他の研究者の研究成果へ障壁なくアクセスしたいという要求から起こった考え方です。

オープンアクセスを可能とする方法として、(1)オープンアクセスジャーナルへの投稿、(2)研究者自身によるセルフ・アーカイビングの2つがあると言われています。

**オープンアクセスジャーナル**とは、掲載された記事にオンラインで、誰もが無料でアクセスできるピアレビュー(同一専門分野の研究者による査読)済みの雑誌です。現在、オープンアクセスジャーナル出版のビジネスモデルでは、著者あるいは所属機関からの支払により出版経費をまかなうことが多く行われています。

**セルフ・アーカイビング**とは、著者が自身の論文等を、個人のウェブページやリポジトリ(保存・寄託し公開するための保存庫の機能をもつサーバ)で無料公開することです。リポジトリには、主題別のリポジトリあるいは機関(大学/図書館)が運営する**機関リポジトリ**があります。

設問 12 最近1年以内に、所属の機関、図書館がオープンアクセス(オープンアクセスジャーナル、セルフ・アーカイビング、機関リポジトリ等)について、あなたの注意を喚起したことはありますか。(1つだけ 印)

- 1 はい(具体的にあげてください。例:説明会の開催、論文の提供要請等)  
[ ]
- 2 いいえ

設問 13 あなたはオープンアクセスジャーナルを刊行している団体または刊行されている雑誌のタイトルをご存知ですか。(1つだけ 印)

- 1 はい  
団体名または雑誌タイトルを1つで結構ですのでお書きください

団体名	
雑誌タイトル	

- 2 いいえ

設問 14 最近3年の間に、オープンアクセスジャーナルに原稿を投稿、あるいは論文を発表したことがありますか。(1つだけ 印)

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 わからない

設問 15 今後3年以内にオープンアクセスジャーナルに論文を少なくとも1本は発表する可能性はありますか。(1つだけ 印)

- 1 はい【 設問15-1へ】
- 2 いいえ【 設問15-2へ】
- 3 わからない【 設問15-1及び15-2へ】

設問 15-1 (設問 15 で「はい」または「わからない」と答えた方に) オープンアクセス (OA) ジャーナルでの研究成果の発表をしてもよいと思った際に考慮した理由をお聞かせ下さい。(あてはまるものすべてに 印)

- 1 すべての読者に自由なアクセスを提供するという原則があるから
- 2 読者層が購読ベースの雑誌より大きいと思うから
- 3 OA ジャーナルは他のタイプの雑誌より早く出版されると思うから
- 4 OA ジャーナルは私の専門分野での格式が高いと思うから
- 5 論文がより多く引用されると思うから
- 6 OA ジャーナルは私の専門分野で高いインパクトを持っていると思うから
- 7 編集者や編集局が魅力的であるから
- 8 所属機関が雑誌を購入する経費が心配であるから
- 9 商業出版社で出版することに反対だから
- 10 その他 [ 具体的に : ]

設問 15-2 (設問 15 で「いいえ」または「わからない」と答えた方に) オープンアクセス (OA) ジャーナルでの研究成果の発表をしたくない理由として思ったことをお聞かせ下さい。(あてはまるものすべてに 印)

- 1 専門分野における OA ジャーナルについてよく知らないので論文を投稿するほどの確信がもてないから
- 2 発表すべき OA ジャーナルを特定できないから
- 3 専門分野では OA ジャーナルの格式が低いと思うから
- 4 専門分野では OA ジャーナルのインパクトが低いと思うから
- 5 OA ジャーナルに発表するための投稿料を支払う資金を見つけれないから
- 6 OA ジャーナルに発表するための投稿料を支払うことに原則的に反対だから
- 7 読者層が購読ベースの雑誌より小さいと思うから
- 8 常に同じ雑誌に論文を発表しており、この方法に満足しているから
- 9 OA ジャーナルに発表した論文のアーカイビングについて不安であるから
- 10 専門分野の OA ジャーナルではピアレビューが十分に行われていないと思うから
- 11 専門分野の OA ジャーナルは従来の雑誌にくらべて出版に時間がかかると思うから
- 12 その他 [ 具体的に : ]

設問 16 オープンアクセスジャーナル出版モデルは一般に研究成果を発表するために著者あるいは所属機関がその出版経費を負担します。現在海外のオープンアクセス出版社は 500 ドルから 1,500 ドルを経費として求めています。実際の出版経費はもっと高いと推測されます。出版社の中には出版経費をまかなうために 3,500 ドル以上請求するところもあるようです。論文が通常の方法で受理されると仮定して、選択した雑誌に論文を発表するためにあなたは (資金提供者の代理として) どのくらいの額を支払う用意がありますか (\$1=110 円換算)。

- 1 払わない [ 理由 : ]
- 2 500 ドル (55,000 円) 未満
- 3 500 ドル (55,000 円) ~ 1,000 ドル (110,000 円) 未満
- 4 1,000 ドル (110,000 円) ~ 1,500 ドル 未満 (165,000 円) 未満
- 5 1,500 ドル (165,000 円) ~ 2,500 ドル 未満 (275,000 円) 未満
- 6 2,500 ドル (275,000 円) ~ 3,500 ドル 未満 (385,000 円) 未満
- 7 3,500 ドル (385,000 円) 以上
- 8 わからない

設問 17 出版経費を支払うための資金はどこが負担すべきだと考えますか。(あてはまるものすべてに 印)

- 1 研究助成金
- 2 部局の予算
- 3 図書館あるいは機関の予算
- 4 その他 [ 具体的に： ]

設問 18 研究助成金の契約条件によりその研究成果をオープンアクセス(OA)ジャーナルで発表することを求められた場合、あなたはどうかされますか。(1つだけ 印)

- 1 喜んでそのような条件に従う
- 2 嫌々であるがそのような条件に従う
- 3 そのような条件は受入れられないので、別の財源をさがす
- 4 わからない

設問 19 オープンアクセス(OA)ジャーナルに発表された論文のアーカイビングには誰が責任を持つべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに 印)

- 1 オープンアクセスジャーナルの出版社
- 2 学協会
- 3 政府
- 4 国立図書館
- 5 大学図書館
- 6 著者自身
- 7 その他 [ 具体的に： ]

設問 20 オープンアクセス出版の普及により既存の学術出版システムが崩壊するかもしれないという意見がありますが、あなたはどのように思われますか。(1つだけ 印)

- 1 崩壊する可能性が高いと思う
- 2 崩壊する可能性は低いと思う
- 3 わからない

設問 20-1 そのように思われる理由をお聞かせ下さい。

設問 20-2 同じく、学協会による出版事業が崩壊するかもしれないという意見についてはどのように思われますか。(1つだけ 印)

- 1 崩壊する可能性が高いと思う
- 2 崩壊する可能性は低いと思う
- 3 わからない

設問 20-3 そのように思われる理由をお聞かせ下さい。

設問 21 学術雑誌の次の役割を維持することは、著者であるあなたにとってどの程度重要ですか。A～Gの項目についてそれぞれお答えください。

	非常に重要	重要	どちらとも いえない	それほど 重要でない	まったく 重要でない
A ピアレビュー	1	2	3	4	5
B 一定の品質を有する論文を一覧できるように集めること	1	2	3	4	5
C 一定の品質を維持するための論文の取捨選択	1	2	3	4	5
D 論文の内容の校正及び改良	1	2	3	4	5
E 論文のレイアウト、言葉遣いの統一	1	2	3	4	5
F 論文中の引用文献の確認とそれらのインターネット上の情報へのリンクの追加	1	2	3	4	5
G 雑誌の可視性(visibility)を最大にする経営努力	1	2	3	4	5

**セルフ・アーカイビング/リポジトリについて伺います。**

設問 22 最近 3 年で、プレプリント（査読前論文）の論文全文を何回デポジット（保存・寄託）し、公開したことがありますか。

	0回	1回	2～3回	4～5回	6回以上
A 自分のウェブページに	1	2	3	4	5
B 所属部署のウェブあるいは機関リポジトリに	1	2	3	4	5
C 主題リポジトリに	1	2	3	4	5

設問 22-1 では、最近 3 年で、ポストプリント（査読済み論文）または雑誌等に公開済みの論文全文を何回デポジット（保存・寄託）し、公開したことがありますか。

	0回	1回	2～3回	4～5回	6回以上
A 自分のウェブページに	1	2	3	4	5
B 所属部署のウェブあるいは機関リポジトリに	1	2	3	4	5
C 主題リポジトリに	1	2	3	4	5

---

---

設問 23、24 は設問 22 と 22 - 1 の A ~ C について、いずれかに 1 回以上デポジットしたことがあると回答された方がお答えください。

---

---

設問 23 何年前からセルフ・アーカイビングを行っていますか。(1つだけ 印)

- 1 最近1年以内      2 2～3年前      3 4～5年前      4 6年以上前から

設問 24 研究成果のセルフ・アーカイビングをする動機は何でしたか。(あてはまるものすべてに 印)

- 1 自ら意欲的におこなった  
2 同僚、共著者に勧められて  
3 購読ベースの雑誌に掲載された論文より、オープンアクセスの論文のほうが引用回数が多いから  
4 所属機関の図書館あるいは経営者に勧められて  
5 所属機関でセルフ・アーカイビングを行ったことがある人に勧められて  
6 研究助成者に勧められて  
7 その他 [ 具体的に： ]

---

---

設問 25 は設問 22 と 22 - 1 の A ~ C について、デポジットしたことがないと回答された方がお答えください。

---

---

設問 25 オープンアクセスを行っているサイトにセルフ・アーカイビングをすることで自分の研究成果に対するオープンアクセスが可能になるということをご存じですか。(1つだけ 印)

- 1 はい      2 いいえ

---

---

設問 26 以降は全員の方がお答えください。

---

---

設問 26 自分の研究成果へのオープンアクセスを可能にする手段としての機関リポジトリあるいは主題リポジトリの存在を知るきっかけは何でしたか。(あてはまるものすべてに 印)

- 1 主題リポジトリが確立されている分野での研究  
2 オープンアクセスについてのディベート  
3 所属機関あるいは図書館からの情報  
4 所属部署あるいは所属する学校からの情報  
5 共著者  
6 同僚  
7 その他 [ 具体的に： ]  
8 機関リポジトリあるいは主題リポジトリの存在は知らなかった

設問 27 あなたの最新論文の著作権者はどなたですか。(1つだけ 印)

- 1 自分自身  
2 雑誌出版社  
3 他者(雇用者など)  
4 わからない

---

---

設問 28 と 28 - 1 は下記の説明文を読んでお答えください。

---

---

学術雑誌に論文を発表すると、多くの場合、その著作権は学術雑誌出版者に譲渡されますが、著者によるセルフ・アーカイビングを認める出版社や雑誌が増えています。一般にこれらの出版社は Green Publisher と呼ばれ、例えば、Elsevier や Blackwell、Nature が挙げられ、欧米の出版社の約 90% に達していると言われています。

設問 28 雇用者や助成団体が、Green Publisher の出版する雑誌に発表した論文をリポジトリにデポジットすることを要求した場合、どのように思われますか。(1つだけ 印)

- 1 喜んでデポジットする
- 2 嫌々ではあるがデポジットする
- 3 デポジットしない
- 4 わからない

設問 28-1 デポジットしようとする際に気になる点をお答えください。(あてはまるものすべてに 印)

- 1 著作権の問題が心配
- 2 登録作業が面倒だと思う
- 3 研究成果等は学術雑誌に発表すれば十分だから
- 4 利用者による悪用が心配
- 5 リポジトリに関する情報が不足
- 6 何を登録すれば良いかわからない
- 7 その他 [ 具体的に： ]

設問 29 よろしければ、ご所属の機関名・部署名をご記入ください。

機関名 [ ]  
部署(学部等)名 [ ]

ご協力ありがとうございました